

前期学校評価アンケートについて

何かと心せわしい年の暮れとなりました。平素は砂川小学校教育活動に、ご理解ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、今年度も児童・保護者・教職員を対象に「前期学校評価アンケート」を行いました。今年度は、学校教育目標を『自ら学び 自ら鍛え 「絆」を大切にする 砂川の子』と掲げ、目指す子ども像を『時』を大切にし、今は何をするときかよく考えて行動する子 「絆」を大切にし、ともに伸びようと努力する子 「命」を大切にし、心と体を鍛える子』とし、それに迫るべく教職員が一丸となって取り組んでまいりました。

遅くなりましたが、アンケートの集計及び分析結果をご報告させていただきます。各項目で、児童・保護者・教職員が「出来ている（よく出来ている十大体出来ている）」と評価していただいている割合は、以下の通りです。

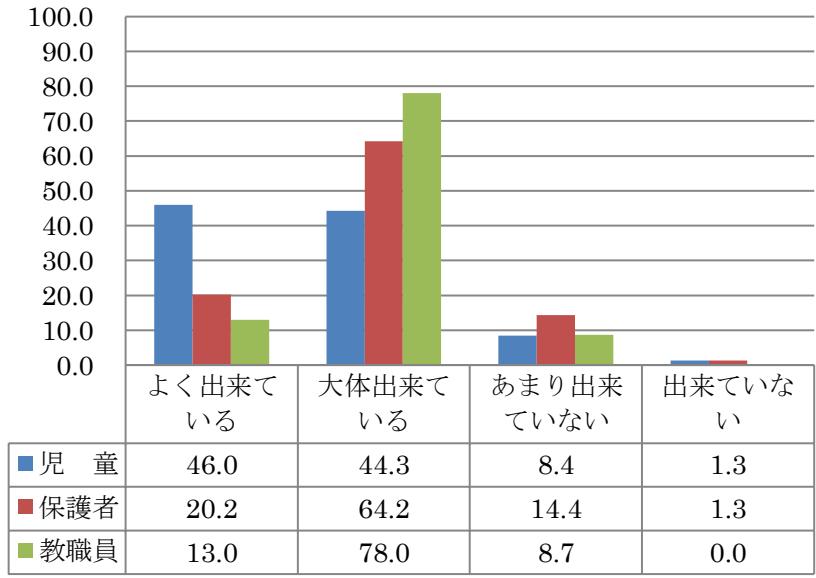
番号	項目	質問内容	児童	保護者	教職員
1	学校でのこと	授業は、よくわかりますか。	91.3	96.5	91.3
2		習ったことが、身に付いていますか。	90.3	84.4	91.3
3		ていねいな言葉遣いをしていますか。	81.5	71.8	58.3
4		学校は、楽しいですか。	94.8	95.7	95.4
5		学校や学級のルールを守っていますか。	94.5	95.4	91.3
6		進んで元気よく、あいさつをしていますか。	91.2	77.4	87.5
7		掃除や整理整頓ができていますか。	90.1	52.7	81.8
8		友だちと協力して、学習ができていますか。	95.0	92.8	95.7
9		困った時は、学校の先生方に相談できていますか。	82.0	82.7	71.7
10		学校は、各おとよりやHP等で、学校の様子を伝えていますか。	98.0	99.2	
1	お家でのこと	家で、宿題や家庭学習ができていますか。	92.2	88.8	95.3
2		自分から、進んで読書をしていますか。	73.1	43.6	52.3
3		友だちと仲良くしていますか。	96.1	97.7	100
4		PTAや地域の行事に、参加していますか。	49.7	63.3	72.2

« アンケートの結果より »

全体的に見ると、概ね「出来ている」との評価をいただきました。しかし、子どもと大人で意識が違い、子どもは「出来ている」と思っていても大人は今一つと考えているところが見られました。

【学校でのこと】

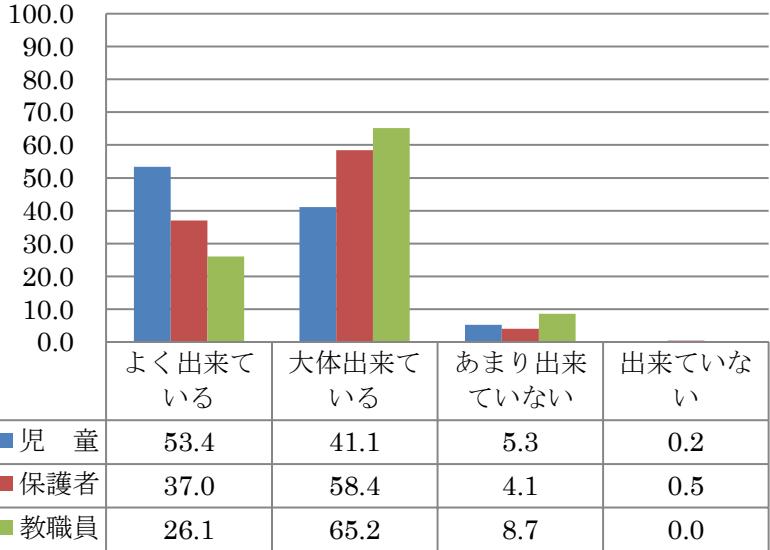
②習ったことが身に付いていますか。



児童は、習ったことが身に付いていると感じていますが、保護者は今一つを感じているようです。子どもは習った直後をイメージして分かっていると感じていますが、保護者はテスト等の結果を見て「まだまだ」と判断しているようです。

教科書の内容が変わり、習うことが増えました。定着させるためには、練習時間がたくさんあります。習った事をしっかり身に付けるためにも《15分×学年》時間目標に、学習時間を取りるようにしてほしいです。

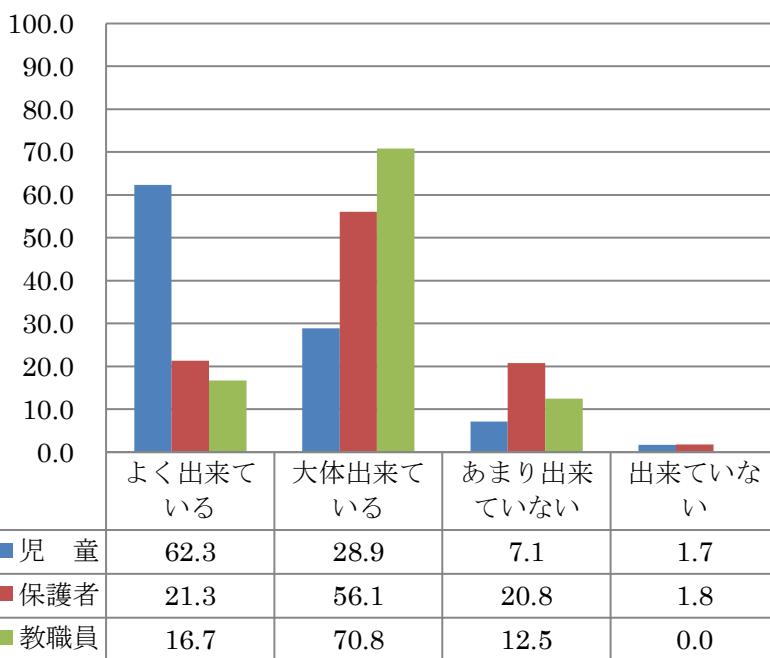
⑤学校や学級にルールを守っていますか。



子どもたちは「ルールを守っている」と思っていますが、大人側からすると「まだまだ」と感じています。学校でも大きな問題はないのですが、「廊下を走る」「後片付けの不十分さ」等、「つい」してしまっていることがあります。しかし、一つ間違えば大きな事故や問題につながる行動です。自分の行動がこの後どんなことにつながるのか、考えられるようになってほしいと指導しています。

ご家庭でも、この機会に「ルールはなぜあるのか」「ルールを守るとどんないい事があるのか」等、話し合っていただけると嬉しいです。

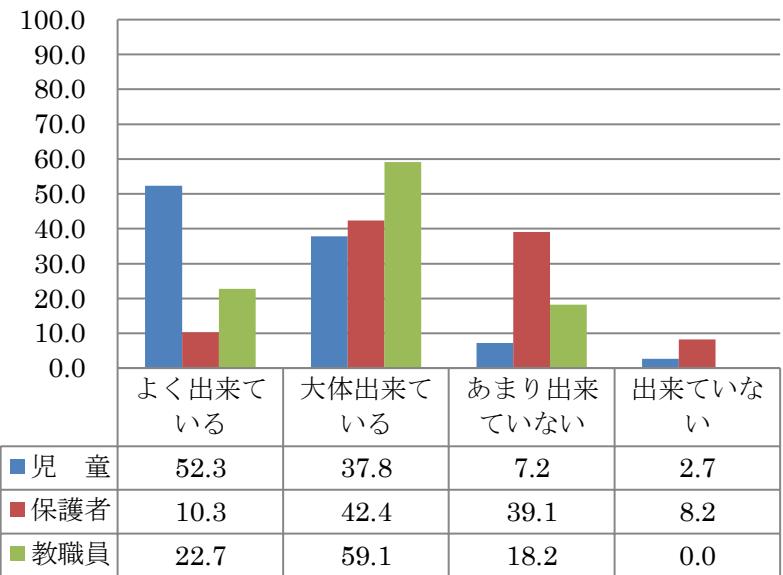
⑥進んで元気よく、あいさつをしていますか。



子どもは「元気にあいさつしている」と答えています。実際、学校では大きな声で、子どもの方からあいさつする姿が多く見られています。

しかし、地域や家庭では、まだまだ「自分から」というのが少ないようです。昨今、不審者問題もあり、声を掛け合うのが難しい面もありますが、隣近所の方の顔を覚えて人とのつながりを広げて、明るく楽しい地域になってほしいと思います。

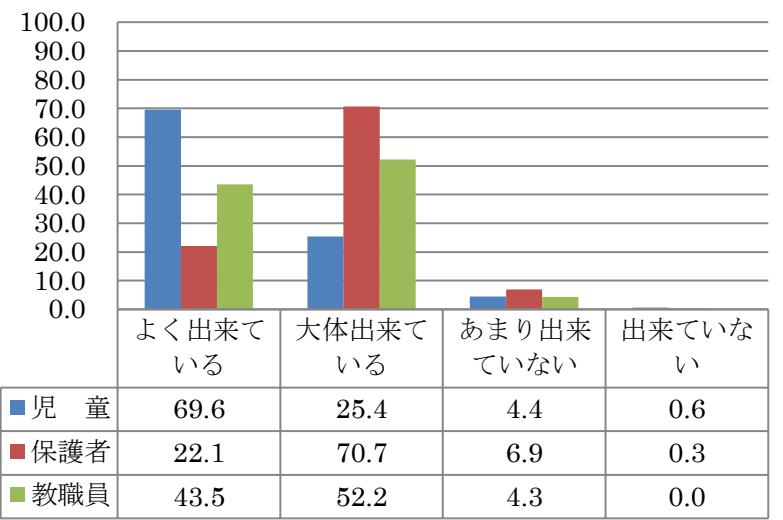
⑦掃除や整理整頓ができますか。



砂川小学校は創立77年になる古い学校です。しかし、来校された方から「きれいですね」とほめています。これは子どもたちが「学校をきれいにしよう」と意識して掃除をがんばっているからです。冬でも廊下・階段などをしっかり水拭きをしています。

しかし、教室のロッカー・机の中は、雑然としています。特に机の中は物でいっぱいです。「筆箱を忘れた時のために…」「お箸を忘れた時…」「〇〇が無くなったら…」と、余分に持つて来ている物でいっぱいです。忘れないように、無くならないようにするには、どうすればいいのかを考えてほしいです。

⑧友だちと協力して、学習ができますか。



友だちと協力して、学習している姿をよく見ます。教え合ってたり助け合っていたりしています。授業でも、グループ学習やペア学習を取り入れています。また、学年行事やスマイル（児童会）活動等で、お互いを補い合いながら活動を進める機会も多いです。

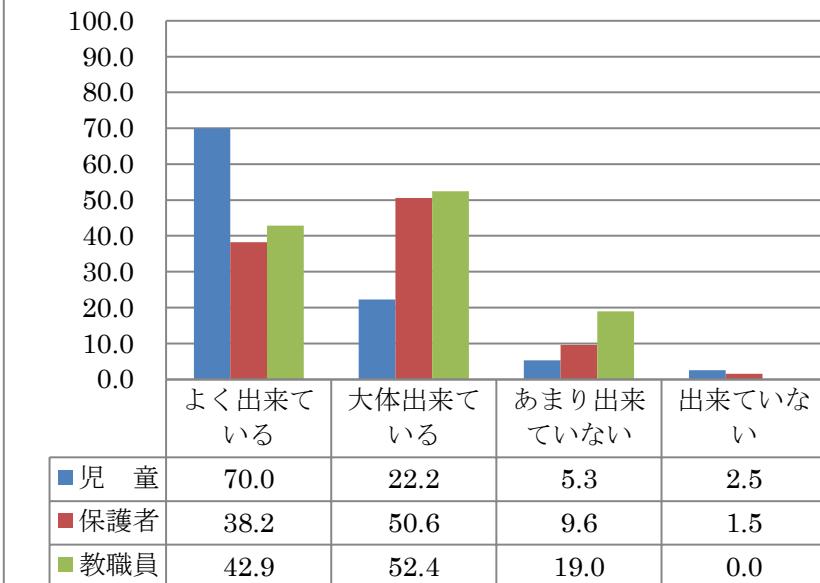
しかし、毎日何事もなく過ぎていくことはありません。お互いの意見が違ったりやり方が異なったりして対立することもあります。その時「もめた事」をクローズアップして「言った」「言わない」、「やった」「やられた」ことを問題にするのではなく、その後どうすれば問題が解決するのか、今後同じようなことがあった時どうしたらよいか、今後同じことが起こらないようにするにはどうしたらよいか等、考える機会にしてほしいと考えています。

子どもは乾いたスポンジのように、周りの出来事やたくさんの体験から吸収し学んでいきます。しかし、よいものだからといって、与えてばかりでは、子どもは吸収せず成長しません。子どもは自分で体験して考えることで成長していくのです。

子どもが自分でよいものを見つけ吸収できるように、大人も努力している姿を表していきましょう。

【お家でのこと】

①家で宿題や家庭学習ができますか。

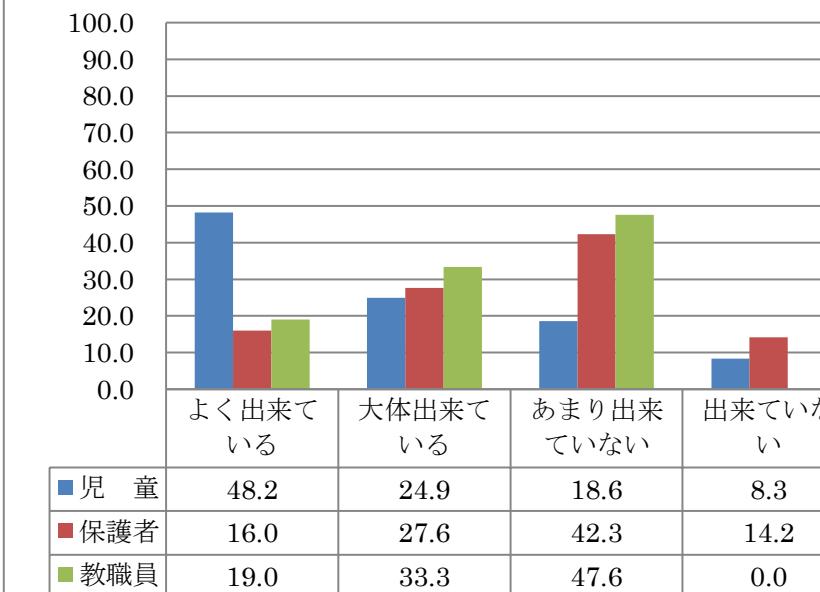


子どもは宿題も家庭学習と考え、保護者は宿題を学校の学習の延長だと考えているようです。だから、保護者は「家庭学習は、宿題とは別に行うもの」と考えています。

学校では教える内容が増え、学習したことを定着させるには練習の時間もたくさんあります。授業中は分かっていたつもりでも、家に帰ると分からなくなってしまうことがあります。その時すぐ教科書やノートを見て復習すると思い出すのも早いです。

また、子どもが学習している間、保護者の方もテレビを消して読書等して、一緒に学習している環境を作ってください。低学年からの積み上げが習慣をつくっていきます。

②自分から進んで読書をしていますか。



学校では本の貸出し数も増え、図書室に行くのを楽しみにしている子どもがたくさんいます。選書会でも熱心に読みたい本を選んでいます。しかし、家庭では…というとまだまだ読めていないようです。実際、図書室で借りた本を学校において帰るのをよく見ます。ご家庭でも親子で読書をしてみませんか。

«学校運営協議会より»

- *少しずつあいさつする子どもは増えてきていると感じる。
- *今これをしたら次どうなるかという想像ができなくなっているのではないか。
- *「学校が好き」「自分が好き」と答えている子どもが多いのはうれしい事だ。
- *これからも、子どもを守るために協力していきたい。